

「明日を拓く『縁』」

暦の上では、春を迎えますが、寒い日が続いています。学校園におかれましては、学習の総仕上げに取り組みられるなか、ノロウイルスや集団かぜ等への対策に力を入れておられることと思います。

さて、先月、清水寺迎賓室にて森 清範 貴主の法話を聴く機会がありました。法話は、年末、話題にのぼった漢字「輪」から始まりましたが、中心となったのは、「縁」の話でした。また、このなかで兵庫の誇る教育者「東井義雄先生」の書かれた書物についての紹介があり、大変興味深く聴きました。

一端をご紹介しますと、「障がいのある女生徒が水泳大会に出場したところ、周囲の生徒がからかい始めた。しかし、校長が背広姿のまま、プールへ飛び込み、女生徒に寄り添い応援を始めると、会場が静まりかえった。校長は、一生懸命泳ぐ女生徒を見て無我夢中で応援していた。」というある高校のできごとです。

この話題をとおして、精一杯取り組むことは、人の心まで動かすこと。また、明日は、どんな日かわからないが、今日のできごとや出会いは、明日につながる。従って、今日を精一杯つとめることが大切であると締めくくられました。

今年度も、残すところ、あと2ヵ月です。貴主の法話を聴かせていただいたご縁をその場限りの経験で終わらせることなく、明日へ繋がる努力をしていこうと思った一日でした。

伊丹市立総合教育センター
所長 江原 礼子



2月の花
「梅」

花言葉：
澄んだ心



総合教育センターでは、研修の締めくくりともいふべき、教育フォーラムを1月21日に開催しました。この日は、伊丹市主催の初任者研修校外研修の最終日でもありましたが、初任者教員の授業を見る目、授業を創造する力の成長ぶりに驚かされました。「子どもが発表しやすいようにする手立は?」、「早く解答できる子と遅い子がいるが、その対応は?」等、積極的に質問する姿や「学力向上をめざす授業の組み立て方とは?」、「学んだから良いのではなく、学んだことをしっかり定着させることが重要」等、グループの協議内容を発表する姿に頼もしさを感じました。背景には、この1年間の

の校園長をはじめ、周囲の先生方の支援、保護者や地域の方々のご理解、そして何より、子どもたちと創り上げた精一杯の教育実践があったからこそでしょう。まさに、様々な出会い(縁)で繋がった方々が総がかりで、初任者を育ててくださったのだと思います。4月からは、初任者教員が26年度採用教員の一番身近な先輩教員として、活躍できることを期待しています。(教育フォーラムの様子は、本号P. 4に詳しく掲載していますので、ぜひご覧ください。)

平成25年第5回伊丹市議会における質問

12月、平成25年第5回市議会が開催されました。教育に関して、「全国学力・学習状況調査」、「公立幼稚園」、「食育」、「無言清掃」、「放課後学習」、「いじめ」、「算数問題ネット配信」等について質問がありました。この中から次の点について、質問趣旨及び伊丹市教育委員会の答弁を抜粋、要約して紹介します。

「いじめ防止対策推進法・いじめ防止基本方針」について

【質問趣旨】

「いじめ防止対策推進法」・「いじめ防止基本方針」が施行されたが、「学校」「自治体」としての新しい取組や対応はどのようなものか。



【答弁内容抜粋】

(学校教育部長答弁) (前略)「学校」の取組につきましては、学校に義務づけられている「学校いじめ防止基本方針」の策定にあたって、まず、市教育委員会が、平成26年1月までに、国、県におけるいじめ防止基本方針を参考にしながら、必要な内容、策定の手続き、公表の在り方等を盛り込んだ「ガイドライン」を策定してまいります。その後、各学校に「ガイドライン」を示し、学校の実態や児童生徒及び、保護者の意見などをふまえ、26年3月末までにそれぞれの学校において「学校いじめ防止基本方針」を策定してまいります。

次に「学校におけるいじめの防止等の対策のための組織」の設置につきましては、現在、各学校で設置しております「校内いじめ対策チーム」に、心理、福祉等に関する専門的な知識を有する者やその他の関係者等を加え構成してまいります。その他、早期発見のための定期的なアンケート等の実施につきましては、6月及び11月に実施しております「いじめの実態把握のためのアンケート調査」を今後も引き続き、実施するとともに、教育相談週間を設けた個別の面談、個人ノートや生活ノートを活用した実態把握を進めてまいります。そして、相談体制の整備につきましては、今年度当初、市内全小中学校に「相談窓口」を設置し、児童生徒、保護者に広く周知したところですが、引き続き、周知に努めてまいります。次に、所轄警察署との連携につきましては、すでに10月に伊丹警察署と共催で「いじめ事案対応研修会」を開催するなど、具体的な取組をすすめているところです。(中略)

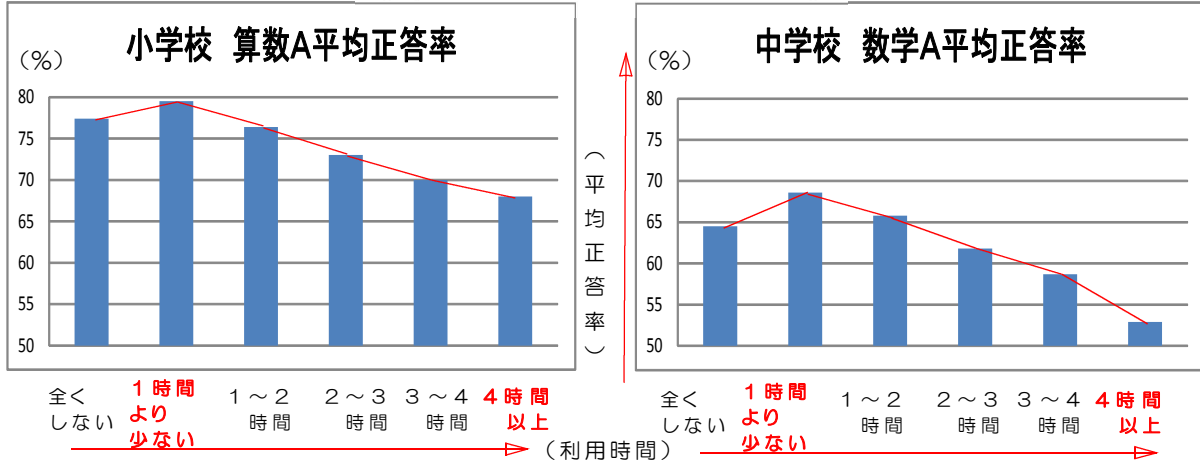
次に、「地方公共団体」の取組につきましては、本市における「いじめ防止基本方針」を策定してまいります。また、「いじめ問題対策連絡協議会」の設置については検討してまいります。第14条第3項に基づく教育委員会の「附属機関」の設置につきましては、条例を制定し、設置する方向で対応してまいります。なお、「附属機関」は、実際にいじめがあった場合の実働組織となるものであり、専門的な組織及び、経験を有する第三者の参加を図り、公平性、中立性が確保されるように努めてまいります。

いずれにいたしましても、いじめは、決して許されることではありません。また、どの子どもにも、どの学校でも起こり得るものであります。市教育委員会においては、平成18年度にいち早く「いじめ緊急アピール」を発出するなど、いじめ問題の重要性を認識し、未然防止、早期発見、早期対応に努めてまいりました。(中略) 今後は、法の理念や目的を見据え、更に、学校、教育委員会、関係機関と家庭、地域が連携して継続性のある実効的な取組を進めてまいりたいと考えております。

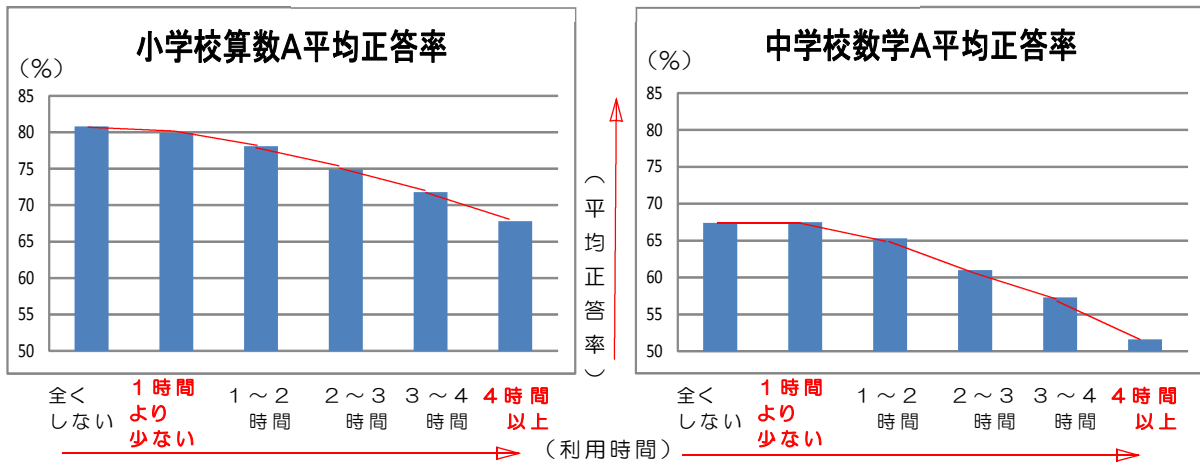
ネット利用と子どもの学力

平成25年4月に実施した全国学力・学習状況調査で、平均正答率と生活習慣の関係を調べた結果を文部科学省が発表しました。結果を見ると、ネットやテレビゲームのしすぎは子どもの学力に影響することが表されていました。

ネット利用時間と平均正答率



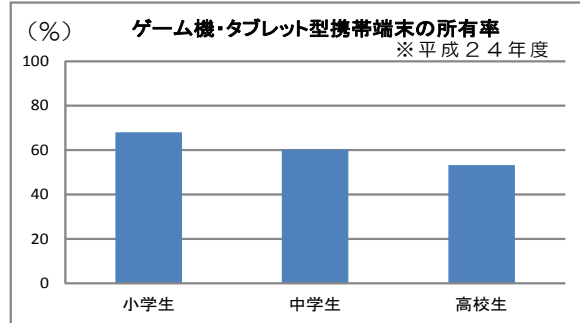
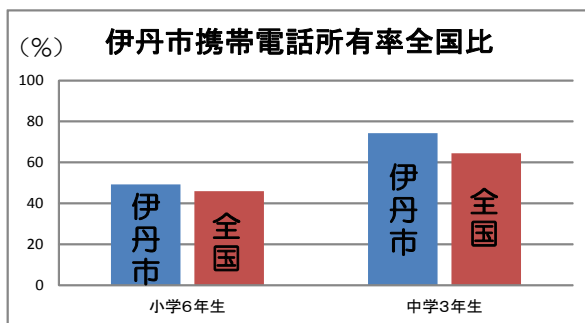
テレビゲームをする時間と平均正答率



※国立教育政策研究所「平成25年度全国学力・学習状況調査報告書クロス集計」から引用

上記グラフからわかるように小学生、中学生ともに1日あたりのネット利用時間やテレビゲームをする時間が長くなれば、平均正答率は下がる傾向にあります。

今の子どもたちはパソコンだけではなく、携帯電話や携帯ゲーム機、音楽プレーヤー、タブレット型端末等でもネットを利用しています。



※内閣府「平成24年度青少年のインターネット利用環境実態調査調査結果（概要）」から引用

上記グラフから、伊丹市の子どもの携帯電話の所有率は全国平均よりも高いことがわかります。また、小・中学生の6割以上はゲーム機・タブレット型携帯端末を所有し、ネットやゲームにふれやすい環境にあると言えます。

今回の調査結果を参考に、子どもの生活習慣や携帯電話等を使ったネット利用について家庭とともに考えていく必要があります。

研修会のポイント

教職員のスキルアップ!

伊丹市立総合教育センター教育フォーラム

1月21日(火) 総合教育センター 2階研修室

テーマ:「学力向上をめざした取り組み」

内容: 研究発表

(1) 教科等研修講座「小学校外国語活動」

池尻小学校 黒谷 由美 教諭

～小学校外国語活動における取り組み～

① まずは**基本的な英会話**をする。

(気分) How are you?

(天気) How is the weather today?

(曜日) What day is it today?

(日付) What is the date today?を質問し、授業の導入とする。

② (ほめことば) good、great、excellent等や (指示する語句) come here、stand up、please等を様々な場面で使い、英語に**慣れ親しませる**。

③ 「Hi、friends!」の**映像や音声を有効に活用**する。

(2) 伊丹市中学校数学科グループ研究

天王寺川中学校 長谷 慎一 教諭

～伊丹市中学校数学科グループ研究会の取り組みについて～

① **市内同一指導案**による研究授業の実施や**同一問題**の作成により、授業力を高める。

② **小中連携**して、**研究授業の交流**や**入学前課題**を実施し、子どもの実態を把握することにより個々の実態に応じた指導に活かす。

③ **校内数学オリンピック**や**各種コンクールへの応募**等をとおして数学への意欲を高める。



第3回トワイライト研修

1月24日(金) 総合教育センター 2階研修室

講師: 株式会社岡本カンパニー

代表取締役 岡本 光司 氏

内容: 「授業力の向上に向けて」

～学力アップは伝え方! 予備校での実践から～

生徒に伝わる授業を行うためのポイント

① 授業は順序立てて**生徒に伝わる構成**にする。

② 教師は教材研究したノート・指導案等を**授業中に確認しない**。

(流れ・知識を覚えておく)

③ **ワークシート(穴埋め)を使わない**。

④ 話は**断定表現**にし、説得力を高める。

⑤ ○回書く・○日までに等**具体的な指示**を出す。

⑥ 板書する文章は**短く、キーワード**をつける。

⑦ **半身**で板書し、視線を生徒から離さない。

⑧ 生徒に強要するのではなく、**一緒にやろう**という気持ちで話しかける。



19:00～20:00の開催でしたが、50名以上の教職員等が参加されました。

発行 伊丹市立総合教育センター
月～金 9:00～21:00 所在地 〒664-0898 伊丹市千僧1丁目1番 TEL 072-780-2480 FAX 072-780-2482
土 9:00～17:00
休館日 日曜・祝日、年末・年始 総合教育センターHP <http://www.itami.ed.jp/>
センターだより「時計台」 <http://www.itami.ed.jp/tokeidai/tokeidai.htm>